

# 議案の審議

## 副市長決まる

本議会において、副市長の選任に関する同意案件など6件、教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例など条例制定議案6件、市立幼稚園条例全部を改正する条例を含め条例の一部改正12件、市農村環境改善センター条例の廃止ほか廃止条例一件が審議されました。同意案件では、約一年ほど空席となっていた副市長に総務省大臣官房秘書課長補佐の江口友之氏を全会一致で同意しました。東大法学部卒業の33歳。市政運営が加速されることが期待されます。また、条例の制定では、主体的な地域活動と個性ある地域づくりの促進を目的に、地区センター等に指定管理者制度を導入する関係条例を可決しました。特に、市内の地区センターは平成28年度から市内30地区の振興会が指定管理することになります。地区センターの維持管理はもとより、地域づくりの拠点として地域の課題解決や住み続けたい地域づくりが期待さ

れます。また、条例の一部改正では、胆沢統合中学校新築事業での用地取得にかかる不手際の責任を取り、市長の4月分の給与月額を100分の50に減ずる特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を可決しました。

## 副市長 人事案件を同意

平成26年4月以降空席となっている副市長について、全会一致で同意しました。



〈新任者〉  
えぐち ともゆき  
**江口 友之 氏**  
◇出身地 福岡県  
◇年 齢 33歳  
◇前 任 総務省大臣官房秘書課  
課長補佐  
◇任 期 平成27年4月1日から  
4年

## 平成26年度補正予算

事業の確定等により、一般会計をはじめ国民健康保険特別会計ほか特別会計8件、水道会計と水沢病院など事業会計3件の補正予算を審議し可決しま

した。一般会計では、8億8千万円程の減額補正で583億円に縮減されました。

一方、市の借金である地方債も期首に比べ33億円ほど圧縮するなど、厳しい財政状況ながら努力のあとが伺えます。今回、国の緊急経済対策に伴い、歳入歳出をそれぞれ4億3千万円ほどを増額する追加補正予算を審議しました。消費型緊急支援交付金として、今年7月から使えるプレミアム商品券の発行や、低所得者対策、子育て世帯への支援などに2億7千万円ほど、地方創生先行型交付金として地方版総合戦略の策定に向けた人口ビジョン策定、ILC誘致を見越した企業立地促進業務委託、食の黄金文化モデル事業などに1億3千万円ほどが盛り込まれました。更に、子牛市場の高騰に喘ぐ畜産農家の支援策として2800万円の事業補助金が計上されました。

## 人権擁護委員・固定資産評価審査委員選任

○人権擁護委員 佐藤公好さん(再任・水沢区) ○固定資産評価審査委員 天野直樹さん(再任・水沢区) 佐藤晃

## 人事案件を同意

平成27年3月31日をもって任期満了となる教育委員会の委員の後任候補者として、全会一致で同意しました。



〈新任者〉  
おざわ きぬこ  
**小澤 絹子 氏** (江刺区)

## 人事案件を同意

平成27年3月29日をもって辞任する教育委員会の委員の後任候補者として、全会一致で同意しました。また、3月30日の市教育委員会臨時会において新教育長に互選されました。



〈新任者〉  
たのまき しげき  
**田面木 茂樹 氏** (水沢区)

## 奥州市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

今回の改正は、胆沢区統合中学校新築事業において用地取得の手続きに関し不手際があり、不信と混乱を招く結果となったことから本事業を監督する立場として市長の責任を明確にするため、給料月額を減額するものです。(平成27年4月の市長の給料月額について、100分の50を減額)

信さん(新任・水沢区) 高野教導さん(新任・前沢区)